

第4章 第2期鎌倉食育推進計画について

1 国、県の動向について

国

- ・平成 23 年 3 月に第 2 次食育推進基本計画を策定
- ・コンセプトは、「周知」から「実践」へ
- ・食育の推進に関する施策についての基本的な方針に 3 つの重点課題を掲げた
 - ① 生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進
 - ② 生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進
 - ③ 家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進

県

- ・平成 25 年 3 月に第 2 次神奈川県食育推進計画を策定予定
- ・3 つの重点目標を掲げる
 - ① 家庭における共食及び学校給食を通じた子どもへの食育の推進
 - ② 若い世代に向けた食育の推進
 - ③ 生活習慣病の予防につながる取組（未病を治す取組）の推進

※ 「未病を治す」とは、食の改善により、病気を発症前の段階でくいとめることを目指すものです。

2 第2期鎌倉食育推進計画の方向性

第2期鎌倉食育推進計画では、平成 24 年度までの取り組みの成果や課題を踏まえ、基本的には現行の取り組みの柱と基本施策を継続して実施しながら、指標の達成に向けて全体の底上げをはかっていきます。

また、平成 23 年 3 月に策定された国の第 2 次食育推進基本計画では、「周知から実践へ」をコンセプトとし、食育の推進に関する施策についての基本的な方針として 3 つの重点課題を掲げていることから、第 2 期鎌倉食育推進計画においても、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善につながる食育の推進や口腔機能の発達・維持に関する取り組みについて、今後は食育としても取り組んでいきます。さらに周知・啓発を進めることで、意識付け、動機付けを行い、実践に結びつけていくことを目指します。具体的な取り組みについては、別途、行動計画を作成して進めていきます。

3 基本理念、めざす姿（目標）、取り組みの柱

基本理念

★ 食をとおして豊かな環境、健やかな心身を地域で育むまちづくり

めざす姿（目標）

★ 自分の食を責任をもって選ぶことができる（自立）

市民1人ひとりが、自分が口にするものを自分で選ぶことができることをめざします。

★ 食をとおして人とつながることができる（共食・共育）

人が生きていくうえで大切な人との関わり、人とのつながりを生きるうえでの基本である食をとおして実現することをめざします。

★ 豊かな環境づくりに参加することができる（共生・共存）

食をとりまく諸事情を学び、食に関わる体験から自分と他者、自然、命とのつながりを感じることをめざします。



★ 取り組みの柱

現状や課題をふまえ、めざす姿を達成するため、食をとおした健康づくりなど4本の取り組みの柱とそれを包括する取り組みの柱として食でつなぐネットワークづくりを位置づけます。

◆食をとおした健康づくり

日々の食事が心と体を育むことから、市民1人ひとりが食と健康、心の関係について理解を深め、健康的な食習慣、栄養バランスのよい食生活を実践できるよう取り組みをすすめます。

◆食をとおした人づくり

食にかかわるさまざまな体験をとおして個々の感性を育み、家族や友人とのつながり、自然とのつながり、命とのつながりを感じることから食への関心を高め、食への感謝の気持ちを育みます。

◆食でつなぐ地域づくり

地域の人や生産者、事業者等とのつながりをとおして、地産地消の意義を学び、地域づくりをすすめます。

◆食からはじめる環境づくり

食育への関心と理解、食品の安全性などに関する知識を深めるため、食について正しい情報を取得できるような環境を整え、食をとりまく自然環境、地球環境についても目をむけて環境づくりをすすめます。



◆食でつなぐネットワークづくり

「健康づくり」「人づくり」「地域づくり」「環境づくり」の4つの取り組みの柱をつなぐネットワークをつくるため、食にかかわる市民、事業者、行政等が連携・協力する体制や人材育成、情報提供などの環境整備をすすめます。